

「介護リフトつるべ」を安全にご使用いただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。なお、使用方法に関しましては、基本的な事項に重点を置きましたので、それぞれの状況に応じた使用方法については専門家にご相談ください。

も く じ

I. 安全上のご注意	1	2. 電装品の使い方	5
II. ご使用前の点検事項	2	(1) スwitchの使い方	
III. 使用上のご注意	2	(2) コントローラーの使い方	
IV. 各部の名称	3	VI. 介護リフトつるべの操作方法	6
V. 介護リフトつるべのご使用方法	4~7	VII. 手動上昇下降の使い方	7
1. 共通部品（アーム・電装品）の取付け方	4	VIII. 仕 様	7
(1) モーターの支柱への取付け		IX. 困ったときは	8
(2) アームの支柱への取付け			
(3) アームとモーターの取付け			

I. 安全上のご注意

安全にご利用いただくために、安全上・取扱上の重要なポイントについては安全表示ラベルを本機に貼付しています。また、安全表示ラベルとともに取扱説明書に示した表示と表示内容は次のようになっています。

■安全表示ラベルについて

- 安全表示ラベルが破損したり、なくなった場合または、読めなくなった場合は新しいラベルに貼換えてください。
- 安全表示ラベルは、お買い上げいただいた販売店に注文してください。



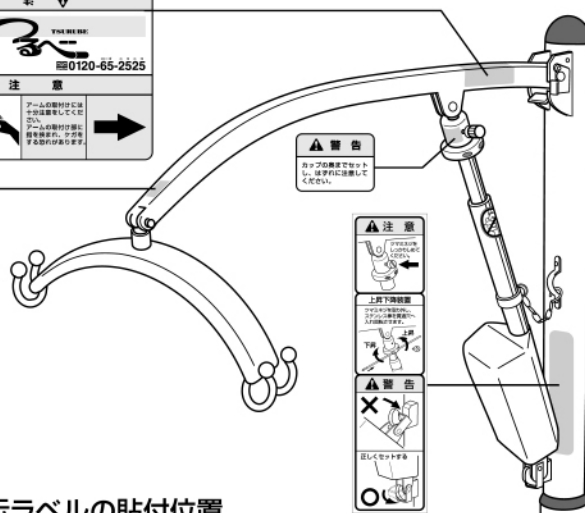
警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は、重傷を負う危険性がある内容を記載しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生する内容を記載しています。



安全表示ラベルの貼付位置

II . ご使用前の点検事項

- | | | | | | |
|---|---|---|------------------------|---|------------------|
| 1 | アーム・電装品が確実にセットされているか。
(安全装置の確認)
P.4、5参照 | 2 | リフトを上下させ異常な金属音や振動がないか。 | 3 | 電装品が正常に作動するか。 |
| 4 | 異常ながたつきやゆるみはないか。 | 5 | 可動範囲に障害物はないか。 | 6 | スリングのほつれや破損はないか。 |

点検を行い、万が一異常な点がございましたら8ページの「対処方法」を参照の上、対処してください。

III . 使用上のご注意

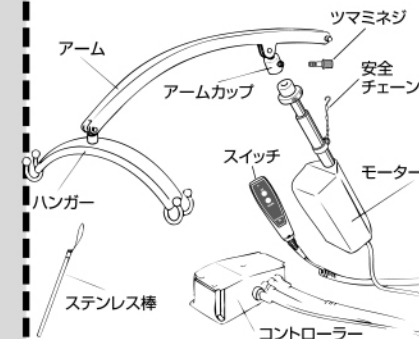
- | | | | | | |
|---|--|---|--|---|---|
| ① | ハンガーに注意してください。特にスリングを着脱するときハンガーを手で支えて操作してください。頭部や顔にハンガーが当たり、ケガをする可能性があります。 | ② | ご本人にリフトを使用する際、モーター外筒部を持って移動させないでください。取付け後、リフトご利用時はモーター外筒部を持たないでください。故障・破損の原因となります。 | ③ | リフトの可動範囲の障害物に注意して下さい。傷を負ったり物的損害が発生する恐れがあります。 |
| ④ | コードは、はさんだり、引っばったりしないでください。断線の恐れがあります。 | ⑤ | 介護リフトつるべを目的以外の用途で使わないでください。(Fセット) | ⑥ | 足のつまづきに注意してください。(B・BBセット) |
| ⑦ | 安全装置が正常にセットされているか、確認してください。 | ⑧ | プラグの差し込みは確実に行ってください。防水効果がなくなり機器の破損の原因となります。 | ⑨ | 100kg以上の方は使用はしないでください。 |
| ⑩ | 濡れた手で電源プラグを持たないでください。感電の恐れがあります。 | ⑪ | ストラップのはずれに注意してください。(特に作動前にはストラップがしっかり掛かっていることを確認) 脱落事故の原因となります。 | ⑫ | リフトの改造や分解はしないでください。安全機能に支障をきたし、機器の破損の原因となります。 |
| ⑬ | スイッチ・モーター・コントローラーは強い衝撃をあたえたり、水没させないようにしてください。 | ⑭ | ご本人単独で 사용하지 しないでください。必ず介護者のついている状態で使用してください。操作する時は本人の体を支えてください。 | | |

IV . 各部の名称

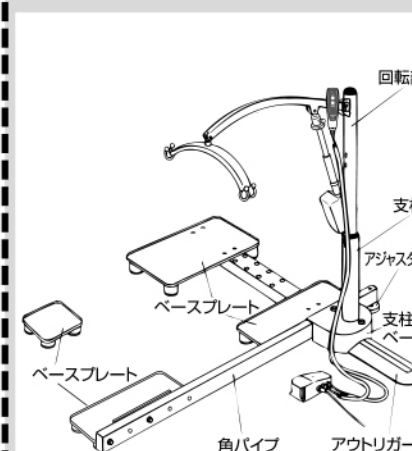
■「つるべシリーズ」

共通部品

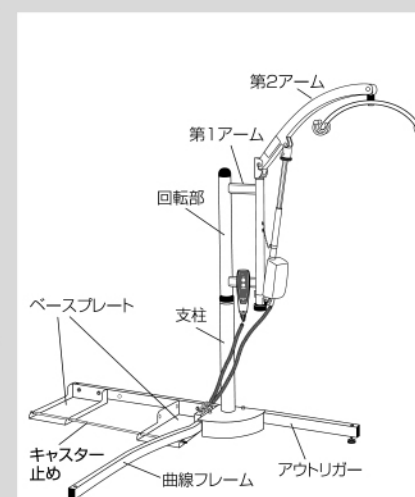
着脱簡単、シリーズ共通部品が様々な場所でのご使用を可能にします。



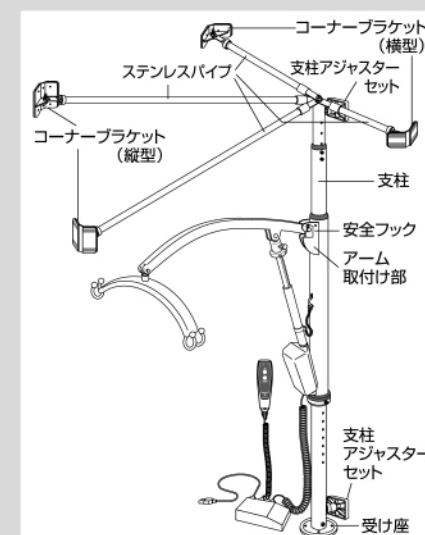
Bセット (ベッド用)



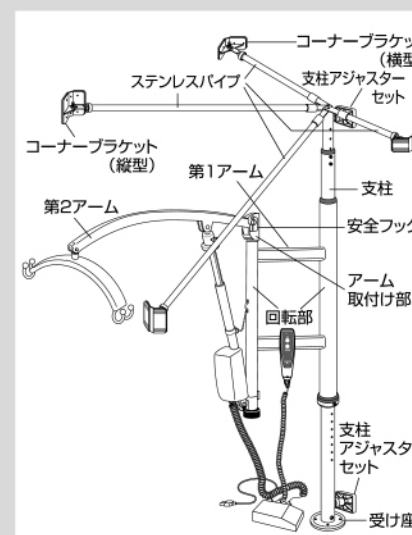
BBセット (ベッド用)



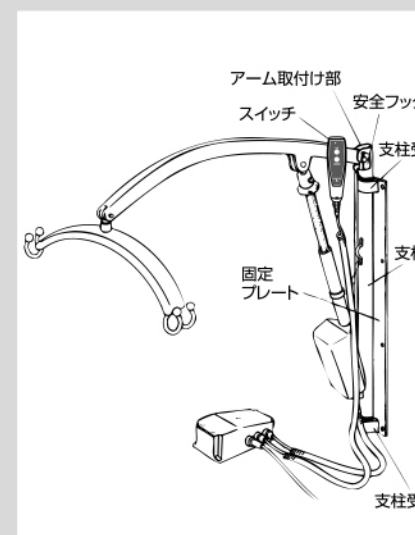
F1セット



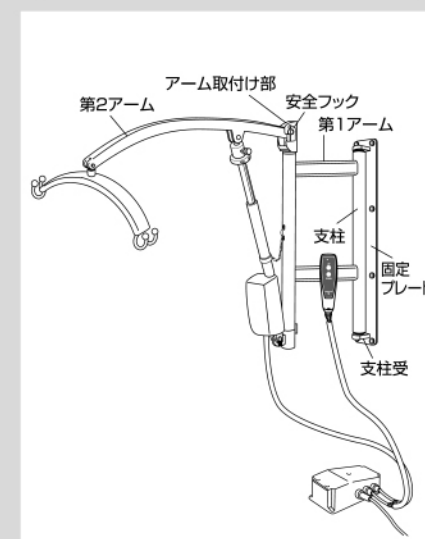
F2Rセット



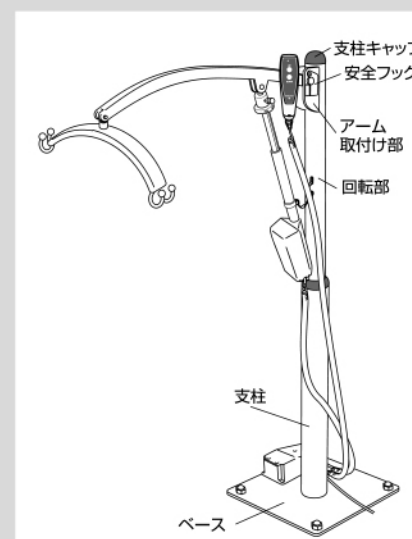
G1セット



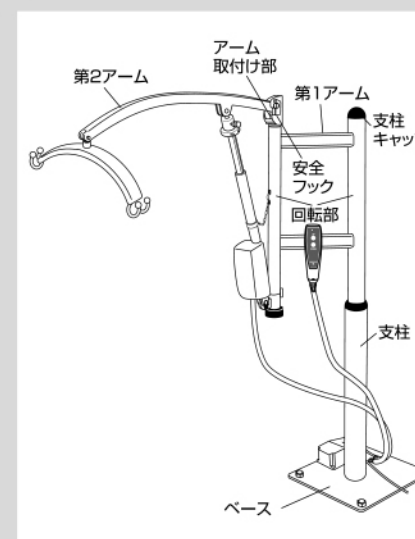
G2Rセット



U1セット



U2Rセット



V. 介護リフトつるべのご使用方法

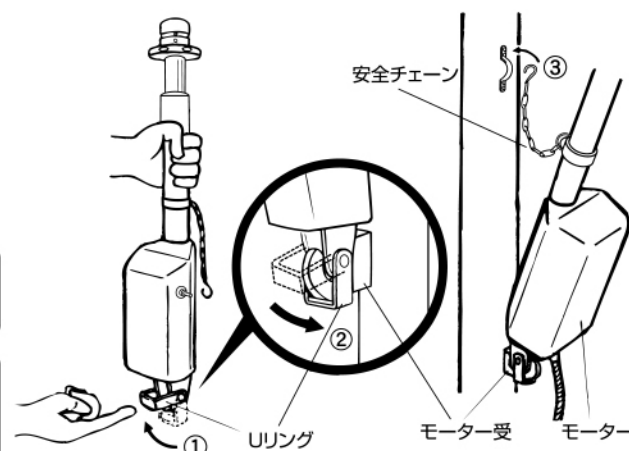
1. 共通部品（アーム・電装品）の取付け方

(1) モーターの支柱への取付け

- ①モーター下部のUリングを①図のようにおこし、モーター受けにしっかりと取付けます。
- ②Uリングを元にもどしロックします。
- ③安全チェーンを掛けます。

注意 モーター落下防止のため必ず安全チェーン・Uリングを掛けてください。

注意 指でUリングを垂直になるまで押し込んでください。硬い場合は、指を挟まないように、両手を使用して押し込んでください。



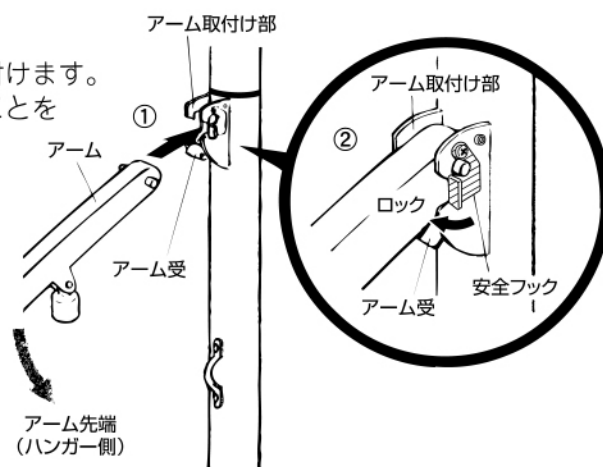
(2) アームの支柱への取付け

- ①アームをアーム取付け部にしっかりと取り付けます。
- ②アームが安全フックでロックされていることを確認してください。

アドバイス

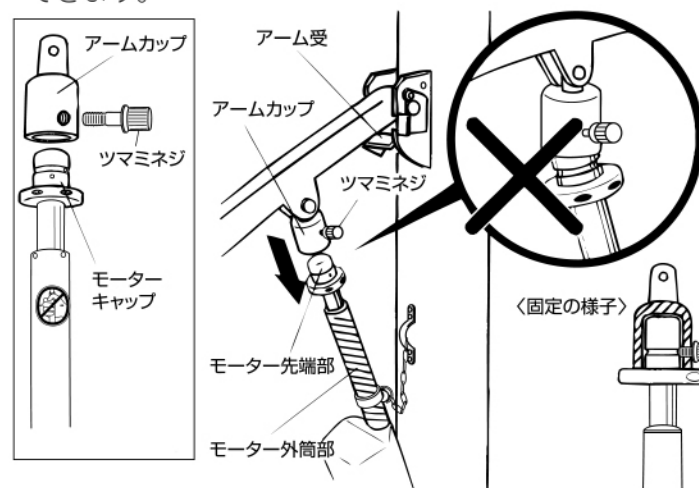
アーム受けに添わせて挿入し、アーム先端を下げてください。アームが安全フックで自動的にロックされます。

警告 安全フックのロックが掛かっていることを必ず確認してください。アームがはずれる恐れがあります。



(3) アームとモーターの取付け

- ①モーターの先端部をアームカップに差し込みます。
- ②アームカップ側面にあるネジ穴とモーターキャップのネジ穴をあわせ、ツマミネジでしっかりと締めてください。
- ③モーターキャップを回転させてネジ穴と合わせるができます。



取り外す場合は(3)→(2)→(1)の手順になります。

注意 必ずモーター外筒部(左図斜線部分)を持って取付けてください。モーター先端部を持つと手を挟む恐れがあります。

警告 モーター先端部がアームカップの奥までセットされたことを確認してください。

警告 モーター外筒部を持って移動させないでください。取付け後、リフトご利用時はモーター外筒部を持たないでください。故障・破損の原因となります。

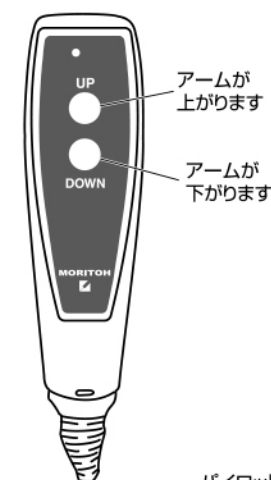
2. 電装品（スイッチ・コントローラー・モーター）の使い方

(1) スwitchの使い方

- ①スイッチで、アームの上昇・下降の操作を行います。
- ②スイッチから手を離すと停止します。



ボタンを押す際は、必ず指の腹で押してください。爪の先や尖ったもので押すと銘板が破れ気密性を損ない故障の原因となります。



(2) コントローラーの使い方

・コントローラー (CB08) の場合

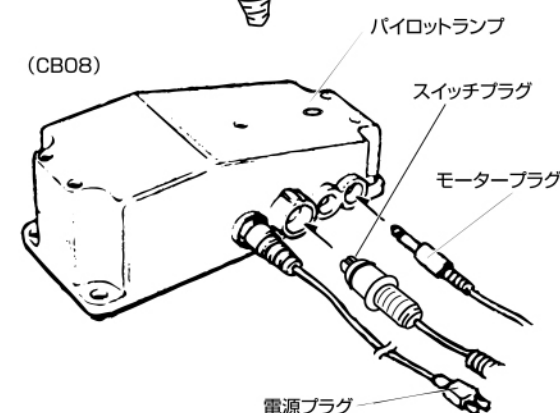
- ①モータープラグおよび、スイッチプラグをコントローラーのそれぞれのジャックにまっすぐ差し込んでください。
- ②電源は、一般家庭用(100V 50/60Hz)コンセントをご使用ください。



100V電源のため、ドアの挟みなどによる断線にご注意ください。

アドバイス

モーター・スイッチのプラグの抜き差しで、硬い場合は、ホワイトグリス等を塗布してください。プラグコードを引っ張りますと、断線の原因となります。



・バッテリー付コントローラー (CB12) の場合

- ①モータープラグおよび、スイッチプラグをコントローラーのそれぞれのジャックに差し込んでください。
- ②初めてご使用になる時は、12時間以上充電してください。このバッテリーは過充電防止機能付きですので、コンセントに差し込んだままでもご使用になれます。
- ③バッテリー残量が50%以下になるとアラーム音でお知らせします。お早めに充電することをお勧めします。



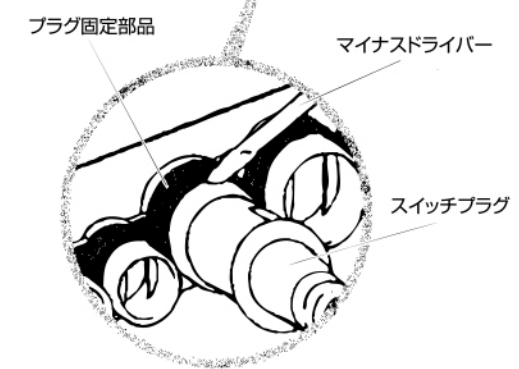
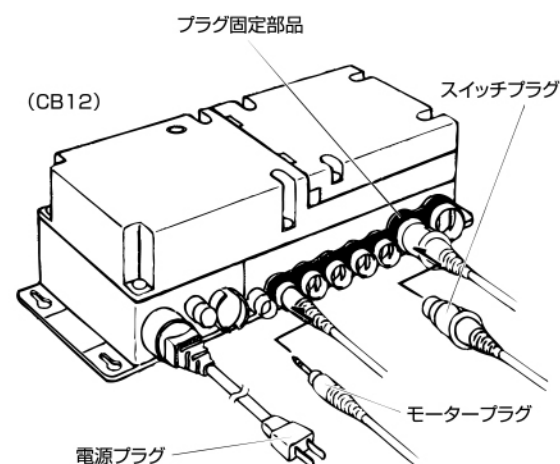
バッテリーが50%以上放電された状態を繰り返すと、バッテリーの寿命が短くなります。

※プラグのはずし方

プラグをはずす時は、プラグ固定部品をマイナスドライバー等ではずしてください。(プラグ固定部品を破損しないようにご注意ください。)

アドバイス

モーター・スイッチのプラグの抜き差しで、硬い場合は、ホワイトグリス等を塗布してください。プラグコードを引っ張りますと、断線の原因となります。



VI. 介護リフトつるべの操作方法

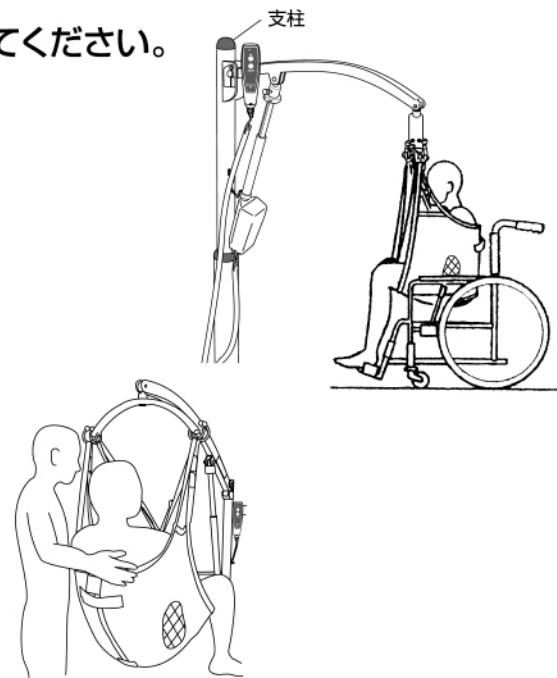
1. 吊り上げる時の注意（※スリングの選定及び装着方法はスリングの取扱説明書をご利用ください。）

(1) 車いすのブレーキは解除して吊り上げてください。

(2) 出来るだけ車いすを支柱の方向に向けて吊り上げてください。

(3) 吊り上げるときは、
「車いすが少し動きますよ」
「体が持ち上がりますよ」と
声かけをしてください。

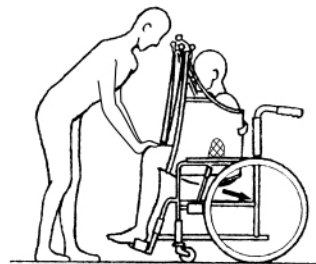
(4) 移動するときは、ハンガーや
アーム・モーターを持って動かさない
でください。
体を抱くようにして移動してください。



2. 車いすにしっかり座る3つの方法

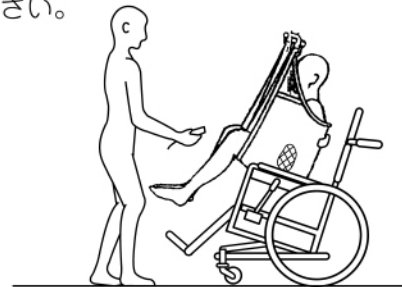
(1) 膝を押す=ブレーキを掛ける

- ①車いすのブレーキを掛けます。
- ②着座直前に、深く座れる位置まで斜め下に膝を押しながらスイッチを操作してください。



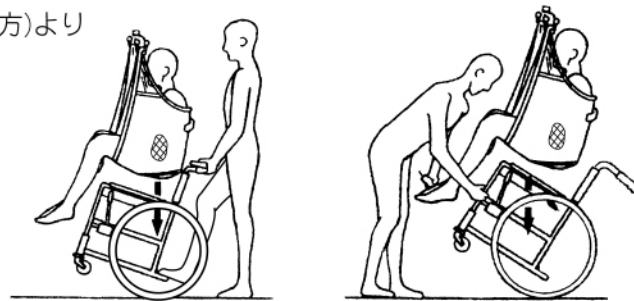
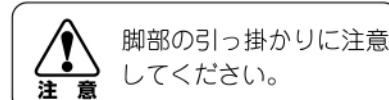
(2) ティルト・リクライニングの角度を合わせる

- ①車いすのブレーキを掛けます。
- ②ご本人の吊り姿勢（角度）に合わせて、ティルト・リクライニングを調整します。
- ③深く座れる位置を確認してスイッチ操作してください。



(3) キャスターをアップする=ブレーキを解除

- ①車いすのブレーキを解除し、前方(後方)よりキャスターをアップします。
- ②スイッチを操作して下降させます。この時、ご本人の重さを感じながら徐々に車いすをもどします。



レッグサポートをはずしてください。
指のはさみに注意してください。
車いすの構造により困難な場合があります。

VII. 手動上昇下降装置の使い方

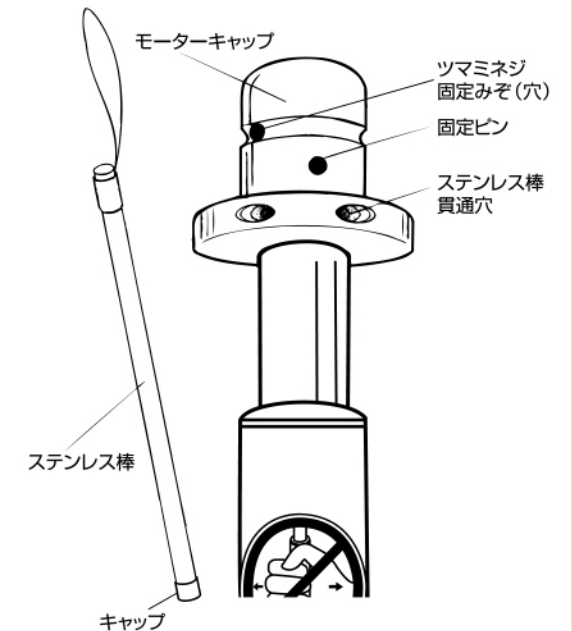
※手動上昇下降装置は、電装品の故障、断線、停電等動かなくなった時に使用します。

アドバイス

動かなくなった時はまず、8ページの IX . 困ったときはをお読みください。

■手動上昇下降装置の使い方

- ①電源プラグを抜いてください。
- ②ツマミネジを取り外してください。
- ③キャップを取り、付属のステンレス棒を貫通穴に差し込んでください。
- ④上から見て右回転で下降、左回転で上昇します。
- ⑤安全な移乗先に移動してください。
- ⑥移動後は使用を止め、販売店が貸与事業所までご連絡ください。



VIII. 仕様

■つるべ電装品仕様

品 目	形式	入力電源	出力電源	重量	コード長さ	防水性能	定格	備 考
モーター	LA32	24V	—	3.4kg	0.4mコイル	IPX6	10%	6000N/最大電流値6A
スイッチ	HB31	24V	—	0.26kg	0.6mコイル	IPX6	—	
コントローラー	CB08	100V	24VDC	1.4kg	5.1mストレート	IPX6	5%	AC電源設定のみ
コントローラー	CB12	100V	24VDC	3.5kg	3.2mストレート	IPX6	10%	バッテリー内蔵型

- コントローラーの全タイプに過負荷保護回路を設定。過負荷でモーター電源を遮断
- コントローラーのバッテリータイプには、バッテリー残量警報を設定。残量50%でアラーム音作動
- コントローラーの全タイプのトランス内にヒューズの設置。1次側電源ヒューズ2A

■つるべ標準仕様

昇降速度 上昇(850mmアーム)	31.7mm/sec
昇降速度 下降(850mmアーム)	37.1mm/sec
耐荷重	100kg
上下ストローク(700/850/950mmアーム)	955/1160/1300mm
ハンガーフック間距離(外寸法)※	500(560)mm
材質	スチール・ステンレス(SUS304)

※ハンガーフック間距離は、オプション(別売)にて、380・430mm仕様があります

バッテリータイプ

(CB-12) 小型シール蓄電池
NP1.2-12, 12V, 1.2Ahを
2台使用しております

IX . 困ったときは

「介護リフトつるべ」をご使用の際、不都合が生じた場合は、下記の手順で対処いただき、改善されない場合は販売店か貸与事業所までご連絡ください。

症 状	対処方法
モーターに異常な金属音や振動がある	ただちに使用を止め、破損の有無を確認。 販売店か貸与事業所に連絡し、症状をお伝えください。
リフトが上昇・下降しない	1. 電源プラグの差込とコントローラーのパイロットランプの点灯を確認してください。 2. スイッチ・モーターの各プラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 3. 1.2.を確認して動かない場合は、手動上昇下降装置(7ページのVII.参照)を使用し、ご利用者を安全な場所に移動してください。 4. 移動後は使用をやめ、販売店か貸与事業所に連絡してください。
支柱の異常なゆれやガタつきがある	ただちに使用を止め、販売店か貸与事業所に連絡し、症状をお伝えください。
スリングのほつれや破損がある	ただちに使用を止め、販売店か貸与事業所に連絡し、新しいスリングに交換してください。

お 願 い

上記のチェック項目・対処方法を行っても正常に作動しない場合には、必ず販売店か貸与事務所、または、弊社までご連絡ください。

■製造発売元  MORITOH CORPORATION
株式会社 モリトー

■本 社 / 〒491-0074 愛知県一宮市東島町3-36

■札幌営業所 / 〒063-0870 北海道札幌市西区八軒十条東1-1-57-101
 ■仙台営業所 / 〒981-1102 宮城県仙台市太白区袋原6-9-22
 ■埼玉営業所 / 〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵4-12-6-103
 ■東京営業所 / 〒143-0025 東京都大田区南馬込4-16-3
 ■中部営業所 / 〒491-0074 愛知県一宮市東島町3-36
 ■大阪営業所 / 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西2-6-2 寺西コンパクトオフィスB号
 ■岡山営業所 / 〒700-0954 岡山県岡山市南区米倉30-102
 ■福岡営業所 / 〒811-1204 福岡県那珂川市片縄東1-12-1
 ■信濃大町
 研修センター / 〒398-0001 長野県大町市大字平22393

お客様相談室
[24時間受付]

モリトーホームページ
E-mail

 **0120-65-2525**

http://www.moritoh.co.jp
info@moritoh.co.jp



TEL (0586) 71-6151 FAX (0586) 72-4555

TEL (011) 708-5200 FAX (011) 708-5201
 TEL (022) 302-7914 FAX (0586) 72-4555
 TEL (048) 753-9393 FAX (03) 3777-1649
 TEL (03) 3777-1648 FAX (03) 3777-1649
 TEL (0586) 71-6151 FAX (0586) 72-4555
 TEL (06) 6785-7202 FAX (06) 6785-7203
 TEL (086) 259-2910 FAX (0586) 72-4555
 TEL (092) 953-1892 FAX (092) 953-1973
 TEL (0261) 23-1678

販売店